



岩田とも子

県議会レポート



発行所／〒861-2103 熊本市東区若葉5丁目8-14
連絡先／立憲民主連合 TEL:096-333-2644
FAX:096-387-5223
E-mail : tomokorin.berurin@icloud.com
HP : <http://www.webrun2.jp/tomo-tomo55/>

明けましておめでとうございます。2022年になりました。私は1962年生まれなので、寅年で、今年還暦を迎えます。学校現場にいたら、3月で退職となり、再任用を申し込んでいるだろうと思います。県議会議員2期目の最後の年にもなります。気を引き締めて、熊本

県の方々のために働きます。

新型コロナウイルス感染症が治まり、皆様にとって良い年になりますようにと願っております。今回のレポートは2021(令和3)年11月議会の報告です。

11月定例議会(11月30日開会、12月21日閉会)報告

今議会から常任委員会、特別委員会共にインターネットの中継、録画放送が始まりました。熊本県議会のホームページで、当日はライブ中継、後日録画として見ることができます。ご利用ください。

一般会計の補正予算は91億円増額で、今年度予算総額は9960億5100万円となりました。

今回の増額の主な内容は、

感染症第6波の到来に備えた体制強化 6億円
感染防止と業務改善の両立に向けたデジタル環境の整備 4億円

感染対策と社会経済活動両立のための検査促進 33億7600万円

地域交通事業者に対する支援 4億円

農林水産業における事業者支援 3億円

企業誘致環境整備事業 5億4800万円

阿蘇くまもと空港アクセス整備調査検討事業 3700万円

鳥インフルエンザ防疫強化対策 4億2600万円

まちなかにぎわい回復支援 1億円

熊本県産酒の消費回復、販売促進活動支援 7000万円

ものづくり産業等におけるデジタル化推進 5000万円

マイナンバーカードの取得促進 2100万円

令和3年8月の大雨等による災害復旧費 15億円
球磨川流域ゼロカーボン先進地創出事業 2100万円
田んぼダムの取り組みの推進 3700万円
熊本地震で崩落した旧阿蘇大橋の保存 3500万円
「ONE PIECE」連携復興応援事業 3400万円
感染症対応等に伴う職員の時間外勤務手当 6億2400万円 などです。

なお、今議会に提出された議案等はすべて原案どおり可決されました。

また、一般質問は11名(立憲民主連合からは、西聖一、磯田毅の両議員)が登壇しました。

コロナウイルス感染症関連と菊陽町に進出予定の半導体製造企業(TSMC)関連、空港アクセス鉄道再検討関連が多く取り上げられました。

委員会報告

教育警察常任委員会

■「夜間中学」についてのニーズ調査の結果が報告されました。アンケートを500箇所2万枚準備し、回答数は139件(回収率6%)でした。

「勉強したい」と回答したのは108人。年齢は各年

代にわたっていました。「勉強したい」人の居住区地で最も多かったのは熊本市でした。

不登校などの理由で中学校に行けなかった方々や外国ルーツの方々にとって、しっかり中学校の勉強を学びたいというニーズはもっとあるのではないかと感じています。九州では福岡市の教育センターに夜間中学を設置してあります。今年度中には方向性を示すとのことでした。

■新型コロナウイルス感染症に係る子どもたちへのアンケート結果が示されました。熊本市を除く11万人の全生徒児童を対象としたものです。不安や悩みがあると回答した児童生徒は昨年10月調査で27,753人(24.6%)、今年5月調査で33,478人(30.1%)、今年10月調査で27,969人(25.1%)となっています。詳細はスクールカウンセラーの面談などで、事例把握はなされているようですが、差別や偏見などを未然に防ぐために、実例などの情報共有や先生方へのケアについても要望を行いました。

特別委員会報告

有明海・八代海再生、及びゼロカーボン社会推進特別委員会

■ゼロカーボンに向けて家庭での取り組みを進めるための施策が提案されました。この中で再生可能エネルギーを積極的に取り入れることに加え、家庭で賄える蓄電器の普及に対して、今、実験調査中とのことでしたので、進めていくよう要望しました。

■9月議会の代表質問で取り上げた、再生可能エネルギーの建設については、今後の方向性として、「地域と共生した再エネ施設」の実現を目指す取り組みのための調査や再エネ施設との協定締結加速化が盛り込まれています。

SDGS(誰一人取り残さない持続可能な開発目標)の指標5「ジェンダー平等」に関わるLGBTsについて

生まれた時の性別である「体の性」と、自分が自覚している「性自認」は必ずしも一致するものではありません。さらに、「男だから女が好き」「女だから男が好き」とは限りません。「性のあり方」は多様でグラデーションのようになっています。LGBTは、L(レズビアン)女性の同性愛者 G(ゲイ)男性の同性愛者 B(バイセクシャル)両性愛者 T(トランスジェンダー)生まれた時の法的・社会的性別とは違う性別で生きる人、生きたい人ですが、この4つの類型だけではないためsがついています。

学校では、クラスで1~2人いるという統計があります。男女別の名簿や制服などで、自己肯定感を失うことにもなります。わたしたち大人に知識や認識が不足しないよう、啓発していかねばなりません。国内外の調査によると、LGBTsの子どもは、差別やいじめの被害体験割合が高く、また、自傷行為経験率も高いことが明らかになっています。性別に関わらず誰もが過ごしやすい社会を作るために、LGBTsに対しても差別や偏見や「思い込み」をなくしていく取り組みを進めていきます。

熊本県教育委員会は、人権尊重の観点から校則の見直しを県立学校や市町村教委に「生徒たちと意見を交わして見直しに取り組んでほしい」と求めていることになりました。県立高校で髪の毛の色を申告させるケースは13校、下着の規定がある高校は39校もあります。文科省は「絶えず見直していかねばならない」との見解を示しています。

私の妹は髪が赤く、高校に入学後、親が呼び出されたことがありました。今でも妹も母も憤っています。ありのままを認め合える優しい社会を目指しましょう。

岩田とも子の政治活動

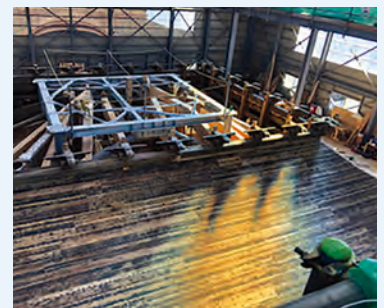
facebook
やってます!



壺溪塾にて、女性の政治参加、社会参画について講義をしました。学生たちから積極的な質問がだされ、嬉しい時間でした。



新しい大津町役場をくまもと女性議員の会で視察しました。金田町長からも町づくりのマニフェストをお聞きしました。



教育警察常任委員会では地震からの復旧が進む阿蘇神社や新しくなった阿蘇警察署の視察をしました。

自伐型林業について、中嶋健造氏(NPO法人自伐型林業推進協会代表)をお呼びして会派で学習をしました。県の担当課も参加しました。